

2-1 アブストラクト・テーブル (抄録一覧表)

[Meta-analysis, systematic review]

抄録 番号	著者 年(新しい順)	Patient	Exposure/Intervention	Outcome

[DB-RCT, RCT, CCT]

抄録 番号	著者 年(新しい順)	Patient	Exposure/Intervention	Outcome

[cohort study, case control study, case series, case report]

抄録 番号	著者 年(新しい順)	Patient	Parameter	Result
2-1-1	Choel et al. 2004	4 5 個の下顎骨 (1 5 名の献体)	高分解能 MRI より得 られた海綿骨のパラメ ータ	骨梁のパラメータ間 に、男女差及び部位差 あり。歯の有無による 差も認めた。
2-1-2	Eggers et al. 2005	2 献体の下顎骨	下顎管の視覚的評価 下顎管の位置評価	CT と MRI では同等
2-1-3	Gray et al. 1998	インプラント術前患 者 1 1 名, 1 9 部位	インプラント埋入位 置, 周囲解剖学的構造	インプラント埋入位置 は全例同定可能。皮質 骨と海綿骨の境界, 下 歯槽管及び上顎洞底も 全例同定可能
2-1-5	Ikeda et al. 1996	1 2 個の下顎骨 (6 名の献体)	下顎管内部の組織	神経束と周囲神経鞘が 識別可能 (3 TMRI)
2-1-6	Imamura et al. 2004	1 1 名のインプラン ト術前女性, 下顎大 臼歯部 1 9 部位	下顎管位置, 断面像に おける距離計測	下顎管の検出率は MRI にて CT より有意に高 い ($P<0.001$)。CT と MRI の距離計測相関 は, 0.7~0.9。
2-1-7	Nasel et al. 1999	6 献体	下顎骨断面像における 距離計測	標本, CT, MRI におけ る測定値は, 歯槽頂を 除き相関は良好 (r square>0.9)。標本と MRI 間の差は 0.74±1.72mm, 標本と CTの差は0.51±1.91mm
2-1-8	Salvolini et al.	1 0 名	下歯槽神経の視覚評価	全例ともに下歯槽神経 束が同定可能